

# ACCESS アクセス マイクラス My Class 番外編

尾花沢第1・第2・第3  
放課後児童クラブ  
1~3年生 111人



## 先生からのひとこと

代表 千葉 光也 先生  
指導員 渡辺由美子 先生

子どもたちの「ただいま」の声は、児童クラブが活気にあふれる瞬間です。子どもたちは毎日パワー全開で、とつともにぎやかにのびのびと楽しんでいます。これから子どもたちと一緒に、キラキラ輝く放課後の生活を送っていきたくと思います。

「おはよう元気いっしょいっす」  
尾花沢第1、第2、第3放課後児童クラブは、尾花沢小学校の1~3年生111人が在籍しています。子ども達は放課後、3つのクラブに分かれて宿題をしたり、皆で遊んだりしながら過ごしています。  
取材に訪れた日は、児童クラブ合同の誕生会とクリスマス会が開催されていました。誕生月の子への質問コーナーやハンドベルの演奏発表のほか、子どもたちにサンタクロースからクリスマスプレゼントが渡され大にぎわいの会となりました。  
(写真)尾花沢放課後児童クラブ・コンプレ

# My Class はばたけ 中学生



尾花沢中学校2年生  
柴崎 琉歌さん  
(高橋)

**書道の継続**  
私は書道始めて、今年での年目になります。書くたびに上達したことを感じられる書道は、私が努力していることの一つでもあります。私が書道をする上で心掛けていることは、とにかく手本をよく見て、一枚一枚丁寧に書くことです。そして、完成させた度に反省をすることが、そうすることでよくなって、どんどん自分の課題が見つかり、改善できます。その努力が実り、8月に行われた「書道宗青年書道展」では「愛知学院大学学長賞」という全国で十番目の賞をいただくことができました。賞の受賞はとても嬉しく、私にとって大きな自信となりました。  
書道をしている上での目標は、見てくれた人達が元気になったり、感動や勇気を与えたりできる書道をする事です。書道を通して誰かに大きな影響を与えることのできる存在になりたいです。この目標を達成できるまで、これからも頑張っていますよ。



## 地域おこし協力隊 奮闘記

Face book ▶  
尾花沢の魅力や地域おこし協力隊の活動報告を日々更新しています。ぜひご覧ください。



### 雪の洗礼

はじめまして。12月から地域おこし協力隊として着任しました、久保田文です。矢越のシエアハウスに古瀬隊員、佐藤隊員と3人で暮らしています。  
私が尾花沢に引越してきた時は全く積もっていなかった雪が一週間後に、どん！と降り積もりのあつという間に50センチ以上。早速の雪の洗礼に驚きもありましたが、陽の光に輝く雪原が本当に美しく、雪国にきたなあと改めて感じました。  
地域の方とお話すると「矢越の辺りは尾花沢でも雪が多い地域だから大変だよ」とお聞きしていました。がまったくその通り。雪かきを始めると雪をかいたそばからまた積もってキリがないくらい。これが一冬続くなかと思うとちよつと気が遠くなりそうでしたが、毎朝出勤前に雪かきをする頭スッキリ、運動不足も解消と良いことはやはり雪が積もっていない朝はちよつと物足りない気分です。そんな話を地元の方にすると「楽しんでいられるのは今のうち



▲12月9日、雪の積もったシエアハウスの様子

だよ」と言われますが・・・  
また花笠高原スキー場が12月15日にオープンしてから「ウィンタースポーツやらないの?」と聞かれることもしばしば。スキーやスノーボードからは10年以上離れていますが、車で移動することが多く運動不足が気になっているので、この冬久々に挑戦しようかと考えています。  
尾花沢で過ごす初めての冬に、雪の尾花沢ならではの楽しみをたくさん見つけて、たっぷり満喫するぞーと気合を入れている3人の頃です。



久保田隊員



昨年11月に東京で開催された同窓会

## 首都圏だより

Letter from Metropolitan Area  
玉野中学校同窓会より  
東京支部50周年を迎えて  
玉野中学校同窓会  
東京支部事務局長  
折原 幸さん  
(東京都在住)

同じ中学校を卒業し、関東に住む同郷の人々が集う会が「玉野中学校同窓会東京支部」です。毎年11月11日に総会を開催し、昨年も約130人の方々が参加していただきました。私も鶴巻田に生まれ、第二回の卒業生です。また、教員としても20年間勤務し、お世話になったところでもあります。電話もない時代、故郷を離れて東京にいった生徒達の職場訪問をさせていただきました。一人で就職した会社で、言葉のこぼれ、習慣のこぼれ、人間関係のことなど、どんなに辛くても頑張るしかない気持ちや語って聞かれました。これからは、時代は変われども、心のよりどころとして同窓会を継続していくつもりであります。人と人との心のつながりが益々大切な時代が来ています。これまで同窓会を支えてくれた皆さんに感謝しこれからも頑張っていきます。